



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

➢SDGsとはSustainable Development Goalsの略称で、日本では「持続可能な開発目標」と訳されています。
 ➢日本ポリエチレンパイプシステム協会(JP協)では、SDGs(Sustainable Development Goals)の17のゴールの中から、**当協会に関連する9つのゴールを抽出し、それらのゴールを実現するための活動を推進します。**



<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>・耐久性に優れ、長期間にわたり安全・安心な水を供給できる『ポリエチレン管』の普及を図ることで、あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保します。</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>・軽量で施工が容易な『ポリエチレン管』の普及を図ることで、腕力に頼らない施工が可能となりジェンダー平等社会の実現と女性の社会進出と雇用の創出に貢献します。</p>		
<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>・経済性に優れ、長寿命な『ポリエチレン管』の普及を図ることで、すべての人々に安全で安心できる水を提供するとともに、災害に強い水インフラを支えます。</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>・性別や年齢、勤や経験に頼らない施工が可能な『ポリエチレン管』の普及を図ることで、業界の新たな担い手確保と持続・成長に貢献します。</p>		
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>・耐震性と耐久性が高く、低コストで施工性に優れた『ポリエチレン管』の普及を図ることで、社会インフラの強靱化に貢献するとともに、産官学の連携・研究等を通じ、新たな技術開発に取り組んでいきます。</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>・耐震性と耐久性に優れた『ポリエチレン管』の普及を図ることで、生活に欠かせない水を安定的に提供し、持続可能な都市形成と住環境を実現します。</p>		
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>・『ポリエチレン管』のリサイクルシステム(端材回収～再資源化)の構築に取り組むことで、持続可能な生産消費形態を目指します。</p>	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>・金属管に比べ、製造・運搬・施工の各工程において、CO₂排出量が少ない『ポリエチレン管』の普及を図ることで、地球温暖化の抑制に貢献します。</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>・産官学のパートナーシップを構築し『ポリエチレン管』の普及促進と技術開発を活発化し、持続可能な社会の実現へ貢献します。</p>